

平成30年度

裾野市行政改革推進委員会
意見書

平成30年12月18日

裾野市行政改革推進委員会

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. 借地等の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2. ふるさと納税・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

(参考資料)

借地等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

平成30年度の委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・ 9

委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

はじめに

当行政改革推進委員会は、これまで個々の事業の事業評価、業務手法の見直し、補助金の見直し、ファシリティマネジメントの推進、窓口業務の市民サービス向上等数多くの改革・改善事項を行政当局に対し提言し、実施につなげていただけてきました。

しかし、地方財政を取り巻く環境は厳しさが増しており、裾野市では、行財政構造改革の取組みがスタートし、3カ年で6.5億円の削減目標が示されるなど、行政改革の重要性は増すばかりです。

その中で、当委員会では、二つの課題について協議してきました。一つは、毎年度多額の費用を支出している「借地等の見直し」を、もう一つは、返礼品の問題などで全国的に話題になっている「ふるさと納税」について、それぞれ長時間議論を重ねてきました。

「借地等の見直し」については、市が契約している借地及び借地に類する補償の現状を確認した上で、取組みをスタートするにあたっての課題や考え方を示しました。

「ふるさと納税」については、議論の最中に総務省により見直し方針が示され、過熱していた返礼品競争が是正されつつある中、今後の取組みの方向性を示しました。

当委員会としては、これらの見直し、取組みを実施する際には、市民、民間の感覚、知識等を取り入れるとともに、裾野市独自の社会環境、地域特性など多角的な視点から進めていただく必要があると考えます。

また、提言内容は市行政における喫緊の課題のため、行政当局に対しては、各年度の取組み目標を明示し、スピーディーな取組みを求めます。

今回の見直しを契機として、今後とも改革、改善の視点からさらに踏み込んだ形で業務の見直しを行い、市民サービスの充実を目指すとともに、より一層簡素で効率的かつ効果的な行財政運営が図られることを期待します。

平成30年12月

裾野市行政改革推進委員会

委員長 渡邊 雄二

1. 借地等の見直し

(1) 現状

- 当市では、土地取得に比べて、イニシャルコスト（当初費用）を押さえられるなどの理由から、借地しているものがある。
- 平成 30 年度現在で、借地等に関する費用（以下、「借地料等」という）として、年間約 1.6 億円を支払っている。（詳細は P 7、8 参照）
- 公共施設等総合管理計画（H28 年度策定）で、借地等の計画的解消に関する基本的な考え方（新規借地禁止等）が定まっている。
- 全庁一体的に借地等を見直しする活動ができていない。

借地とは・・・

行政サービスの提供（公共施設の設置等）のため、所有者との契約により、所有者から土地を借りて使用している土地のこと。

借地等には、作物補償、踏み荒らし補償等の借地に類する補償も含む。

(2) 課題

- 年間約 1.6 億円の借地料等が固定費化し、財政負担になっている。
- 所有権を持っていないことで、施設の存続が不安定なものになる恐れがある。
- 契約事務や支払事務などの事務コストがかかっている。また、今後、相続等により借地契約の相手方が増え、事務量が増加する可能性がある。
- 施設所管課で契約しており、契約様式等が統一化されていない。

(3) 意見

① 委員会としての意見

- 借地料等の縮減計画（期間、目標値）を定める必要がある。
- 縮減の具体的な手法としては、「返却」「購入」「借地料等の減額」がある。施設（借地等）の将来的な利活用等を踏まえ、適切な手法を判断し、取組む必要がある。
- 借地料等の金額や借地等の活用状況を踏まえ、見直しを行う借地等の優先順位を決める必要がある。
- 必要に応じて、専門家の助言や力を借りて、取組む必要がある。
- 現状の契約書をチェックし、標準様式を作る必要がある。

② 審議過程における主な意見

(方針・総量規制)

- 公共施設等総合管理計画で定めた基本方針に基づき、適切に動いてもらいたい。
- 財政収入全体に対する借地料の割合を定め、総量規制してみてもどうか。一定の指標になるのではないか。

(優先順位)

- 利用頻度などで評価してみればどうか。
- 借地等の施設だけでなく、市の施設をどのようなものにしていくかという視点が、優先順位をつける上で必要ではないか。

(借地料)

- 借地料等が高額に感じるものがある。減額交渉する必要がある。

(土地所有者との関係)

- 土地所有者との良好な関係を保ちつつ、機会を捉えて、誠実かつ真摯な態度で、所有者には市の現状や将来展望等を理解してもらうことが必要である。

(見直し手法)

- 専門家を交え、取組み内容を検討する方がよい。
- 庁内に専属の部署や専門チームを設置し、取組める体制を作る必要がある。
- 外部委員も交えて事業仕分けのような手法も一つではないか。

(施設の見直し)

- 保有資産を活用し、玉突きで施設を移転させることで、借地を減らすことが可能ではないか。
- 施設自体の存廃を検討する際に、借地という要素を考慮する必要がある。
- 人口動向を考えると、施設数をスリム化せざるを得ないように感じる。施設自体を積極的に見直しする必要がある。
- 解消のためには、施設を廃止するのが、一番スッキリする。

(その他)

- この意見書を受けての取組み（見直し）だけでなく、今後も定期的に見直しする必要がある。

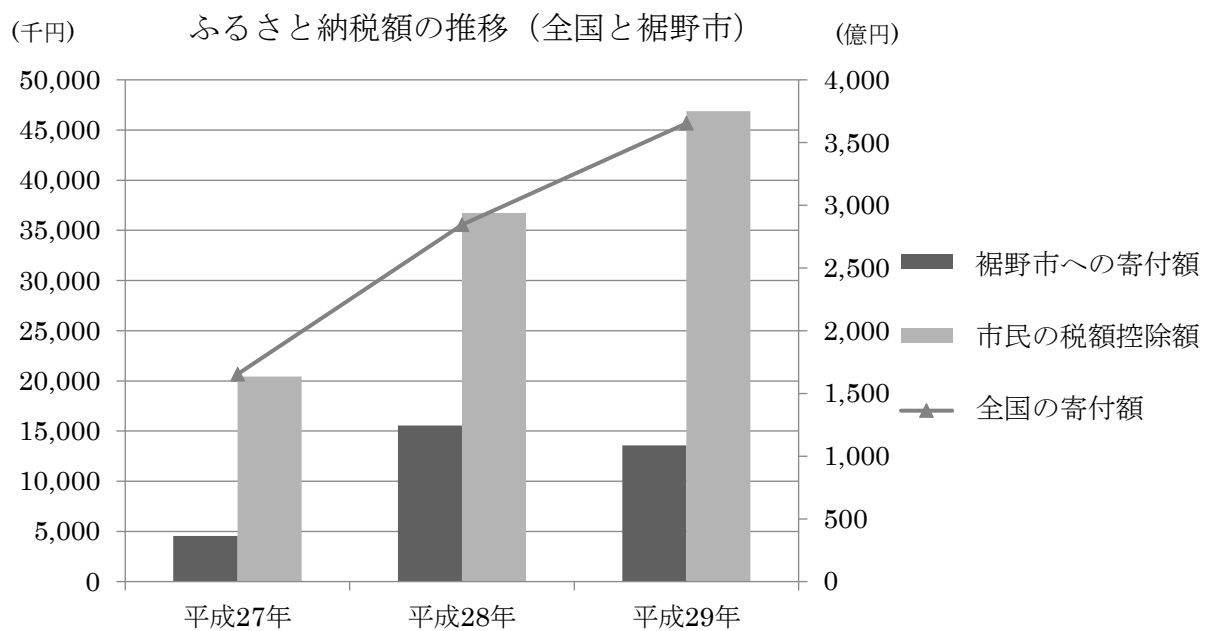
2. ふるさと納税

(1) 現状

① 寄附額（ふるさと納税）の推移

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
裾野市への寄附額（千円）	4,530	15,540	13,566
裾野市民の税額控除額（千円）※	20,421	36,721	46,869
全国のふるさと納税額（億円）	1,652.9	2,844.1	3,653.2

※裾野市民が他市町にふるさと納税した結果、住民税が控除された額



② これまでの取組み

- 返礼品金額割合は、総務省の通知どおり 3 割に設定。
- H28 に、返礼品目を増加、「ふるさとチョイス」を申込サイトとして利用開始した結果、裾野市への寄附額が増加。
- H29 に、季節・数量限定の返礼品を追加。

(2) 課題

- 裾野市への寄附額が減少している。
 - － H29 分の寄附額は、前年比 12%減
 - 裾野市民の他市町村への寄附による税額控除額が増加している。
 - － H29 分の控除額は、前年比 28%増
- 寄附額から税額控除額を差し引くと、ふるさと納税による収支が、赤字になっている。
- 本来、市民が受けるべき行政サービスの財源を失っている。

(3) 意見

① 委員会としての意見

- 収支が「赤字」の状況は問題である。最低限の目標として、寄附額と控除額が均衡するように取組む必要がある。
- 総務省による指導により、過剰な返礼品が是正されつつある。全国的に同じ基準、土俵での再スタートになるため、このチャンスを逃さず、取組む必要がある。
- ふるさと納税制度の本来の趣旨のとおり、PR活動などを通じて、裾野市に寄附したいと思うような環境づくりを行う必要がある。
- 返礼品目を拡充する必要がある。
 - － 他市町村を参考に、品目を揃える。
 - － 返礼品の出し方、見せ方など広い視野で工夫する。
 - － 裾野市オリジナルや裾野市のロケーションを活かした体験型返礼品を揃える。
 - － サービス型（墓の清掃等）の返礼品を増やす。

② 審議過程における主な意見

(現状・全体)

- ふるさと納税制度は、返礼品に重きが置かれ、返礼品競争になっているなど、制度上の問題が多い。しかし、現状を踏まえ、裾野市としても追従していく必要がある。
- 寄附先として選ばれないということは、自治体間競争で負けている、ということ。
- 裾野市に寄附したくても、欲しい返礼品がなくて、寄附をやめるケースがある。

(PR・意義)

- 市全体のPRをし、裾野市の認知度・理解が高まることにより、ふるさと納税につながるのではないかな。
- 裾野市に寄附したい状況を作り、寄附したいと思った時に、寄附できる環境を作る必要がある。
- パンフレットのようなアナログ型のPRだけでなく、SNSなど活用したPRを実施する必要がある。
- 返礼品の背景（バックストーリー）に共感していただければ、寄附につながるのではないかな。
- 市民を通じて、裾野市出身者に寄附してもらえるようなPRを行ってもよいのではないかな（盆、正月前にパンフレットを配布する）
- 市内勤務者や市内に観光に来る人など、裾野市に縁のある人にピンポイントでPRしてもよいのではないかな。

(返礼品) 「一」以降は、委員会で発言のあった具体例

- 返礼品目当てで寄附しているケースが多いため、返礼品を拡充する必要がある。
- 市内に立地している企業と連携し、裾野市独自のものを加えられないか。
 - 製造・販売している甘酒、味噌
 - 製造している自動車等のグッズ
 - 市内製造品でパッケージをひと工夫したもの
 - すそのん関連グッズ
- 市のロケーションを活かした体験型（農業体験、田舎体験等）を設定してもよいのではないか
 - 農業体験
 - タケノコ堀り
- 体験型、施設利用、宿泊などを組み合わせて一つの返礼品にしてもよいのではないか。
 - 農業体験＋宿泊＋ヘルシーパーク裾野の入場券
- 日常の買い物では、購入を躊躇するようなちょっとした贅沢品という視点で検討する必要がある。
- 女性視点（母・妻視点）で、検討するのも一つ。
- 希少性が高いもの（季節性のもの等）ほど人気が出る可能性がある。

(その他)

- 市の経費の見直しが必要である。
- ポータルサイトを増やす必要がある。

(参考資料)

借地等 一覧

番号		施設用途	名称(用途)	借地料等 (円/年)
1	1	行政系施設	市役所庁舎南(駐車場)	3,558,909
2	1	行政系施設	石脇駐車場	801,900
3	2	集会施設	東地区コミセン(駐車場)	1,602,555
4	3	公営住宅	上原団地	8,215,888
5	3	公営住宅	舞台団地	4,504,401
6	3	公営住宅	新稲荷団地	1,935,306
7	4	保健・福祉施設	福祉保健会館	7,352,725
8	4	保健・福祉施設	ヘルシーパーク裾野用地	3,303,408
9	5	スポーツ・レクリエーション系施設	深良グラウンド	7,749,673
10	5	スポーツ・レクリエーション系施設	総合グラウンド	16,315,706
11	5	スポーツ・レクリエーション系施設	運動公園	22,683,766
12	6	市民文化・社会教育系施設	市民文化センター	20,142,921
13	6	市民文化・社会教育系施設	生涯学習センター	1,586,515
14	6	市民文化・社会教育系施設	柏木屋敷跡地	1,450,000
15	6	市民文化・社会教育系施設	岩波風穴	100,000
16	6	市民文化・社会教育系施設	十里木キャンプ場	1,362,000
17	6	市民文化・社会教育系施設	十里木キャンプ場(補償料)	280,000
18	6	市民文化・社会教育系施設	富士山資料館運動場等	851,906
19	7	子育て支援施設	西保育園(駐車場)	1,142,055
20	7	子育て支援施設	東保育園	5,405,120
21	7	子育て支援施設	東保育園(駐車場)	722,798
22	7	子育て支援施設	深良保育園(駐車場)	529,196
23	7	子育て支援施設	富岡保育園(駐車場)	452,330
24	7	子育て支援施設	いずみ幼稚園	1,379,485
25	7	子育て支援施設	いずみ幼稚園(駐車場)	1,463,821
26	7	子育て支援施設	深良幼稚園(駐車場)	546,343
27	7	子育て支援施設	富一幼稚園(駐車場)	517,500
28	7	子育て支援施設	富二幼稚園(駐車場)	383,327
29	7	子育て支援施設	須山幼稚園(駐車場)	402,346
30	8	学校教育系施設	東小学校	1,713,040
31	8	学校教育系施設	東小学校屋外運動場	2,212,848
32	8	学校教育系施設	西小学校(駐車場)	1,373,939
33	8	学校教育系施設	富岡第一小学校(駐車場)	581,100

番号		施設用途	名称(用途)	借地料等 (円/年)
34	8	学校教育系施設	西中学校第二グラウンド	2,250,664
35	8	学校教育系施設	学校給食センター	5,516,774
36	9	供給処理施設	最終処分場	14,921,088
37	10	消防施設	消防庁舎	2,295,000
38	10	消防施設	消防庁舎(排水路)	24,234
39	10	消防施設	茶畑分遣所	1,084,478
40	10	消防施設	西分団	716,598
41	10	消防施設	富岡分団	352,302
42	10	消防施設	富岡分団(拡張分)	241,035
43	10	消防施設	東分団茶畑(駐車場)	378,392
44	10	消防施設	東分団平松(駐車場)	291,600
45	11	公園(運動公園除く)	景ヶ島公園	256,740
46	11	公園(運動公園除く)	屏風岩	150,000
47	11	公園(運動公園除く)	中央公園駐車場	1,088,360
48	11	公園(運動公園除く)	偕楽園用地	1,029,325
49	12	上水道事業	岩波駅構内(上水道埋設管)	4,300
50	12	上水道事業	岩波～裾野間(上水道埋設管)	10,600
51	12	上水道事業	岩波～裾野間(上水道埋設管)	10,800
52	12	上水道事業	岩波～裾野間(上水道埋設管)	25,000
53	12	上水道事業	裾野～下土狩間(上水道埋設管)	3,700
54	12	上水道事業	裾野～下土狩間(上水道管埋設・添加)	6,200
55	12	上水道事業	富士岡～岩波間(上水道管添加)	3,240
56	12	上水道事業	市ノ瀬 42 号～55 号(共架施設)15 基	19,440
57	12	上水道事業	御宿 246 号(共架施設)1 基	1,296
58	12	上水道事業	金沢水系予備水源用地	30,000
59	13	下水道事業	流量計制御盤設置用地	2,000
60	13	下水道事業	マンホールポンプ制御盤設置用地	2,000
61	13	下水道事業	流量計制御盤設置用地	14,000
62	13	下水道事業	マンホールポンプ制御盤設置用地	2,000
63	14	その他	梅の里	12,616,920
64	14	その他	いわなみキッチン駐車場	165,000
65	14	その他	裾野駅東口駐輪場・トイレ	335,100
66	14	その他	裾野駅西口駐輪場	199,100
67	14	その他	岩波駅第一駐輪場	292,400
68	14	その他	岩波駅第二駐輪場	545,432
69	14	その他	小柄沢取水口(水門)	763

167,507,945

－ 平成３０年度の委員会開催状況

	月 日	内 容
第１回	平成３０年 ５月２９日	● 委員改選に伴う委嘱状の交付 ● 本年度の審議事項の協議及び決定
第２回	７月２７日	● 借地・遊休資産等の見直しについて ● ふるさと納税について
第３回	９月１２日	● 借地等の見直しについて ● ふるさと納税について ● 補助金の見直しの経過報告
第４回	１０月１７日	● 意見書（案）の検討と取りまとめ ● 行政改革大綱の見直しの経過報告

－ 委員名簿（五十音順）

No.	氏 名	所属団体等	備 考
１	大庭 崇彦	学識経験者	
２	勝又 美代子	学識経験者	(副委員長)
３	菊田 祐一郎	学識経験者	
４	庄司 伸子	教育委員会	
５	鈴木 浩正	青年会議所	
６	高村 寿彦	社会福祉協議会	
７	土屋 浩三	商工会	
８	寺嶋 勝俊	労働者福祉協議会	
９	原木 英利	区長会	
１０	横山 歌代子	婦人会	
１１	渡邊 雄二	学識経験者	(委員長)